

必修・選択	授 業 科 目	単 位 数		担 当 者	備 考
		1年次	2年次		
選 択 科 目	スポーツ情報工学特論 A	2		和田匡史・地神裕史	
	スポーツ情報工学特論 B	2		伊藤 浩志	
	生体情報工学特論 A	2		岩原 文彦	
	生体情報工学特論 B	2		谷端 淳	
	医工学システム特論	2		宮路 茜	
	代数学特論	2		澤邊 正人	
	解析学特論	2		鈴木 龍一	
	幾何学特論	2		新庄 玲子	
	応用確率統計特論	2		布田 徹	
	物理学特論	2		関口 宗男	
	計算物理学特論	2		和田 浩明	
	地球科学特論	2		乾 睦子	
	固体化学特論※（令和8年度休講）	2		名越 篤史	
	化学熱力学特論※	2		名越 篤史	
アカデミック英語	2		小崎 充		

※ 隔年開講科目です。履修の際は、履修年度の時間割を参照してください。

1. 3 建設工学専攻

(1) 建設工学専攻の目的

建設工学専攻修士課程は、人間社会や環境と調和を図りながら、さまざまな問題に的確に対処できる高度な専門能力を有する建設技術者の養成ならびに研究者の育成を目的としています。

(2) 建設工学専攻のコース内容と特色

研究の根幹は、基礎・応用・創造である。本専攻では、建設分野に関連する、最新かつ高度な専門知見を習得した人材を育成するため、次の5コースが設置されている。

- ア 構造・防災・サステナブル
- イ まちづくり環境
- ウ 建築総合技術
- エ 福祉住環境
- オ 建築デザイン・計画

各コースの内容・特色を以下に示す。

ア. 構造・防災・サステナブルコース

最近の例をみてもわかるように、地震、津波、火山噴火、洪水などがあると、程度の差はあっても必ず災害が生ずる。災害の発生を完全に防止することは不可能かもしれないが、最小限に食い止める必要がある。合理的な防災や環境保全を行うためには、構造、土質・地盤、水理、材料等の知見も必要となるので、これらも含め、本コースでは防災技術や環境保全技術の基本と応用、さらに手法の開発などを教育研究する。

イ. まちづくり環境コース

環境と統合した国土や都市、あるいは町を創るための計画・デザインに関わる基礎の充実と応用・開発を図るコースである。具体的には橋梁、道路、港湾、河川等の景観デザイン、さらにこれらを含めた都市・町計画を扱う。このとき、これら構築物が造られる対象地域の歴史や文化との関わり、経済活動、人間生活、自然環境に及ぼす影響なども研究対象とする。

ウ. 建築総合技術コース

建設活動をめぐる生産システム、利用から廃棄に至るまでの建物のライフサイクルについて、科学的視野に立って多角的視点から研究する。住生活から社会生産活動を含め、建築物の機能保持・省エネ・省CO₂のための環境設備、先進的な生産に関わる建設材料の特性と挙動を探索し、要求性能を満足させる構造技術・生産技術・建物運用技術などを研究する。また進展する生産活動や環境問題等を背景に、資源循環や生産効率等を考慮した工事計画と施工法、持続可能な建築物の環境性能・建築設備のあり方を教育研究する。

エ. 福祉住環境コース

地球環境保全と人間生活環境の調和を目指し、都市・国土環境の整備等に関する基礎原理と応用面について研

究する。また、居住環境を健康科学や福祉医科学の視点からとらえ、快適で安全安心な社会の生活環境について教育研究する。

オ. 建築デザイン・計画コース

建築のデザイン・計画は個人から始まって地球デザイン・計画まで広範囲であるが、その幅広いデザイン・計画、景観をふまえ、さらには歴史的展望に立っての個々の造形、形のあり方について教育研究する。個々の建築、群としての空間の造形、あるいは都市のあり方等、大地に立つ造形のあるべき姿を追求する。また、環境サステナブル建築、ユニバーサルデザインの技術的側面をふまえ、形態的表現を研究提案する。

(3) 建設工学専攻授業科目

2年以上在学し、建設工学特別演習（Ⅰ～Ⅳ）（4単位）、建設工学特別研究（Ⅰ～Ⅳ）（8単位）に加えて選択科目から18単位以上（計30単位以上）の単位を修得し、且つ履修科目の成績並びに修士論文及び最終試験（公聴会）の成績の総合判定に合格することが修了の要件である。

工学研究科 建設工学専攻 修士課程 授業科目

必修・選択		授業科目	単位数		担当者	備考
			1年次	2年次		
コース選択必修科目	構造・防災・サステナブル	建設工学特別演習Ⅰ～Ⅳ	2	2	乾 睦子 橋本 隆雄 津野 和宏	
		建設工学特別研究Ⅰ～Ⅳ	4	4		
	まちづくり環境	建設工学特別演習Ⅰ～Ⅳ	2	2	二井 昭佳 山坂 昌成※1 西村 亮彦 名越 篤史	
		建設工学特別研究Ⅰ～Ⅳ	4	4		
	建築総合技術	建設工学特別演習Ⅰ～Ⅳ	2	2	朝吹香菜子 原 英嗣 横内 基	
建設工学特別研究Ⅰ～Ⅳ		4	4			
福祉住環境	建設工学特別演習Ⅰ～Ⅳ	2	2	寺内 義典 田中 千歳		
	建設工学特別研究Ⅰ～Ⅳ	4	4			
建築デザイン・計画	建設工学特別演習Ⅰ～Ⅳ	2	2	南 泰裕		
	建設工学特別研究Ⅰ～Ⅳ	4	4			

必修・選択	授業科目	単位数		担当者	備考
		1年次	2年次		
選 択 科 目	構造力学特論		2		
	コンクリート構造特論※		2	津野 和宏	
	維持管理工学特論※(令和8年度休講)		2	津野 和宏	
	建築耐震設計特論		2	横内 基	
	地盤防災特論		2	橋本 隆雄	
	構造計画特論		2	小久保 彰	
	河川工学特論		2	山坂 昌成	
	環境設備工学特論		2	橘 雅哉	
	建築環境工学特論		2	原 英嗣	
	建築生産特論		2	朝吹香菜子	
	建築材料施工特論		2	位田 達哉	
	建築再生特論		2		
	建築意匠特論		2	南 泰裕	
	環境デザイン特論		2	岩澤 拓海	
	建築史特論		2	川津 彩可	
	福祉環境整備特論		2	寺内 義典	
	固体化学特論※		2	名越 篤史	
	化学熱力学特論※(令和8年度休講)		2	名越 篤史	
	都市地域解析特論		2	寺内 義典	
	設計特別演習1		2	玉田 誠	
	設計特別演習2		2	玉田 誠	
	建築福祉医療特論		2	田中 千歳	
	地球科学特論		2	乾 睦子	
	インターンシップI		2	田中 千歳	
	インターンシップII		2	田中 千歳	
	インターンシップIII		2	田中 千歳	
	インターンシップIV		2	田中 千歳	
	公共空間デザイン特論※		2	二井 昭佳	
	橋梁デザイン特論※(令和8年度休講)		2	二井 昭佳	
	都市デザイン特論		2	西村 亮彦	
	建築構造設計演習		2	小久保 彰	
	建築設備設計演習		2		
	代数学特論		2	澤邊 正人	
解析学特論		2	鈴木 龍一		
幾何学特論		2	新庄 玲子		
応用確率統計特論		2	布田 徹		
物理学特論		2	関口 宗男		
計算物理学特論		2	和田 浩明		
アカデミック英語		2	小崎 充		

※1 当該教員は、令和8年度退職予定のため、原則研究指導学生の受入れはありません。
指導を希望する場合には、大学院課までご相談ください。

※2 隔年開講科目です。履修の際は、履修年度の時間割を参照してください。